

# 生活機能評価

本編第2章P.16資料

資料2-④

氏名	A氏	性別	調査日	事前	
		女性		事後	

		事前	事後	備考
A D L	室内歩行	○2	○2	なんとか伝い歩きが可能。這って歩く手前。
	屋外歩行	△1	△1	ひとりでは転倒が不安で実施していない。付き添いがあれば短い距離は可能。
	外出頻度	△1	△1	ひとりでは転倒が不安で実施していない。付き添いのもと必要な外出はしているができるだけ控えている。
	排泄	○1	○1	手すりを使用。洋式トイレ。
	食事	○1	○1	動作はできるが硬いものなどがかみにくい。
	入浴	○2	○2	手すりを使用し、なんとかまたぎ動作ができている。
	着脱衣	○1	○1	ズボンやパンツの着脱時、椅子やもたれ立位で行っている。
I A D L	掃除	△1	→ ○2	主に娘が行い、時々座ってコロコロをかけている。
	洗濯	○2		干すときに転倒の不安あり。座って行っている。
	買物	×1		娘が買い出しをしている。
	調理	△1	→ ○2	レンジでできるものを活用。台所には立たない。
	整理	○1	<b>事後で改善の可能性のある行為に着目する</b>	
	ごみ出し	×2		息子が持って行ってくれる。
	通院	△1		息子が付き添ってくれる。
	服薬	○1		
	金銭管理	○1		
	電話	○1		
社会参加	×1			

【判定基準】

自立度 困難度と 改善可能性	自立		一部介助		全介助	
	楽にできる	少し難しい	改善可能性 高い	改善可能性 低い	改善可能性 高い	改善可能性 低い
判定	○1	○2	△1	△2	×1	×2

(和光市出典資料)